

—プログラム—

「春を待つ」（組曲「雪明りの路」第1曲）

- ・ やわらかな白雪、青空のパステル画のような美しいトーン。
- ・ 落ち着いた、詩情豊かな演奏。
- ・ 出だしの発声—上方に美しく響かせ、こもらないように。

近藤静 ピアノ ソロ

ショパン 幻想即興曲嬰ハ短調 o.p. 66

- ・ ロシアの圧制に抗し、祖国ポーランド独立めざす革命的情熱、ふるさとへの愛がのびやかに響き渡る。
- ・ 終結部一下から押し上げてくる潮のような力強さに続き、静かなやわらかなテーマの再現・・・ポーランド民族の底力と、繊細なやさしさをよく表現し、見事な演奏だった。
- ・ 近代ピアノ技法の革新者—ショパンのピアノ芸術の民族性、国際性、大衆性、芸術性の統一が、近藤静さんのピアノ演奏で華麗に、情熱的に生き生きと表現された。
- ・

ベートウベン ピアノ・ソナタ第14番嬰ハ短調 o.p. 27／2 「月光」

1楽章

- ・ ベートーベンのジュリエッタへの失恋の痛みを、こんなに繊細に歌い上げたことに驚く。左手に深い心の響きがほしい。

2楽章

- ・ 明るい草原や深い森にたわむれる若い恋人の喜びが楽しく出てくる。リズムを更に生き生きと。